

【電子版】



2025年 第21号 2025年10月17日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071

fax. 03-3874-4997

メール info@jikosoren.jp

ホームページ→



ライドシェア全面解禁阻止へ奮闘

第48回定期大会 すべての議案を満場一致で決定



こぶしを突き
上げて団結が
んばろう＝10
月15日、東
京・全労連会
館

自交総連は10月14～15日、東京・全労連会館で、「ライドシェア全面解禁阻止、労働条件改善、地域公共交通を守ろう」をスローガンに第48回定期大会をZOOM併用で開催しました。（発言の内容などは次号以降に掲載）

来賓として、全労連の黒澤幸一事務局長、交運共闘の山崎正人副議長、顧問弁護団の林治弁護士と小賀坂徹弁護士（ZOOMで参加）、日本共産党の堀川あきこ衆議院議員が駆けつけました。

第48回定期大会参加者数

	定数	出席	委任	計	(率)
役員	11	10		10	90.9%
中央委員	19	12	7	19	100%
代議員	45	27	18	45	100%
合計	75	49	25	74	98.7%
会計監査		2			
傍聴者		2			
来賓		5			
総務委員会		2			
報道他		7			
総計		92			

(注) 会計監査(2) 埼玉、神奈川

出席は会場参加者とZOOM参加者の合計数

中央執行委員長と来賓のあいさつの後、議案提案と、10地方16人による質疑・討論がおこなわれました。全発言がつつがなく終了すると、議案採決を実施。2025年度運動方針案などすべての議案を満場一致で決定しました。

また、今大会で堀井一也書記次長が辞任することとなり、あいさつをしました。

大 会 宣 言

自交総連第48回定期大会は本日、「ライドシェア全面解禁阻止、労働条件改善、地域公共交通を守ろう」をスローガンとする2025年度運動方針を決定した。

この一年間、全国の仲間が毎月宣伝を中心に、ライドシェアの危険性を利用者に訴え続けたことで、規制改革推進会議の答申に、全面解禁に向けた内容を盛り込ませない成果につながった。確信をもって、引き続き世論喚起の運動をすすめる。



大会宣言を読み上げる
市村中執

タクシーでは、地域住民の移動の権利を保障し、安全で快適な地域公共交通を守っていくため、それを支える労働者の社会的水準の労働条件確立をめざす。観光バスでは、雇用を守り、公正な取引ルール確立、運賃ダンピングなどの法違反是正や過労運転の防止、労働条件改善にとりくむ。自教では、労働者の健康確保、要求実現、地域の交通安全教育センターとしての機能強化、教習所の将来展望確保につなげる。

自民党の新総裁に高市早苗氏が就任した。国民生活に直結する消費税減税に距離を置き、故安倍晋三元首相による政治の継承を掲げ、裏金議員の復権、改憲、大軍拡、日米同盟強化を唱えるなど、日本の平和と暮らしを危うくする悪政がおこなわれようとしている。就任前は、ライドシェア全面解禁に反対を示していたが、今後野党との連携を模索するなかで、態度を翻すことも想定される。

こうした情勢を跳ね返していくためにも、産別組織としての体制と機能の強化が不可欠である。日常活動をさらに強化させて、ひとりでも多くの共にたたかう仲間を増やしていかなければならない。

自交総連はもてる力を結集し、要求闘争の前進と組織強化拡大に奮闘する。